

新たな一歩へ

6年担任 寺本 英子

平成23年4月、15人で入学してきた子供たちも38人に増え、教室が窮屈に感じられるほどになりました。個性派ぞろいですが、クラスで何かに取り組むときにはしっかりまとまる、そんな6年1組の子供たちも、もうすぐ卒業を迎えます。

東町小が、小規模校から中規模校になっていく過程をずっと見てきた子供たちです。全校みんなが大きなファミリーのようだった小規模校としての東町小の良さも、国際学級となり、さまざまな国の子供たちが集う人数が増えた東町小の良さも、どちらも感じてきた子供たちです。いつの東町小も子供たちは大好きです。

私は、この子たちを5・6年と担任させていただきました。5年生の時から人数の少ない6年生を助け、時には最高学年としての活動にも取り組んできました。

そして、6年生になり、得意不得意に関係なく、何らかのリーダーをやることを求められました。「責任をもって全校のみんなをまとめよう」「みんなが笑顔の東町小にしよう」というスローガンを掲げ、学校のリーダーとしての活動に張り切って取り組んできました。とはいえ、下学年の子たちみんなが言うこと聞いてくれるわけではありません。なかなか指示を聞いてくれない子にも、やさしく諭す姿がありました。行事の際の会場準備などのお手伝いもよくありました。「えー！またー！」という声が上がっても、必ず最後までやり遂げる姿がありました。

学校の代表として参加した水泳記録会、連合運動会では、これまで個人ではよい結果が残せても、リレーでは残すことができなかつた東町小でしたが、人数が増えたことでリレーでも他の学校と肩を並べて競える戦力がそろうようになりました。

一番思い出深い行事となった移動教室では、初冬の日光に行きました。行く先々で出会った方々の親切に感謝しながら、みんなで大いに学び、大いに遊び、たくさんのことを感じてきました。5年、6年と残念ながら箱根に行くことはできませんでしたが、箱根とはまた違った貴重な体験となりました。

教室に掲げているみんなで作った100日カレンダーもあと18日(3月1日現在)となりました。残りの日々を一日一日大切に過ごしていきたいと思います。

そして、最高の卒業式を迎え、中学校という新しい世界への第一歩を大きく踏み出してほしいと思います。



1年生について

1年担任 鹿島直子 村上尚子 小林恵里花

入学式の日、1年生の子供たちは保護者の皆様に手を引かれて東町小学校の門をくぐってきました。その日からさまざまな体験を積み重ね、少しのことではくじけないうれしさを友達に対する思いやりの心も育ってきました。最近では、入学式の日に大きかったランドセルがしっくりと身体になじんできたように感じます。

1年生として今のクラスで過ごす時間はいよいよ残りわずかですが、子供たちが自信をもって新学年がスタートできるように、1年生のまとめをしていきたいと思っています。

入学式

ぴかぴかの教科書



みんな緊張していました。

みんななかよし



展覧会

みんなの作った
パフェ美味しそう

席書会

一文字一文字
丁寧に書きました

